

08

技術サービス業

革新的サービス

一般型

設備投資のみ

株式会社 ブルーム

代表者 山崎 信二
住 所 〒849-5131
佐賀県唐津市浜玉町浜崎1901-457
連絡先 TEL 0955-70-4701 FAX 0955-70-4711
https://www.bloom-jp.com

資本金 1億9,050万円
設立年月 平成3年10月
従業員 41人



各国の分析機関との提携による中小企業のための 輸出入プラットフォームの確立

当社は国内でも希少な化粧品に特化した成分分析会社で、医薬品医療機器等法(薬機法)の登録検査機関、水質検査機関としても実績を構築しています。各国の医薬品・化粧品、食品におけるグローバル分析機関との提携により様々な規制(レギュレーション)を容易にクリアできるプラットフォームを確立し、中小企業の製品及び原料等の輸出入を効率良く行い、日本企業のグローバル展開のお手伝いができればと考えています。



代表取締役社長

やまざき しんじ
山崎 信二

本事業への取り組みの経緯

中 小企業が輸出入を行おうとする際にハードルとなっているのが、各国のレギュレーションの違いです。各国の法律により配合禁止成分・配合制限成分が定められており、輸入を希望する化粧品の全てが国内で販売できるわけではありません。専門知識や経験不足から輸入を断念される、もしくは薬機法違反に問われる例が相当数ありました。輸出においてももちろんです。このレギュレーションの違いによる課題を克服し、化粧品に限らず、あらゆるモノの輸出入をサポートできるサービスの構築を図るため、まずは農産物の輸出入が円滑に行えるよう、最低限必要な分析機器をそろえる必要がありました。

実施内容

食 品分析のなかでも、特に消費者の関心が高い項目が農薬です。これまでに取得した分析機器では当然足りないため、新たに分析機器を取得しなければならませんでした。農薬の分析に関しては、効率良く農薬の分析を行う必要性から、数多くの農薬を一度に検査する一斉分析が主流となり、一斉分析を行うためには、液体クロマトグラフ質量分析装置(LC-MS/MS)が必要不可欠となっております。また、農薬に限らず分析を行う際には、分析装置の選択と共に前処理方法の選択が重要です。対象試料が多岐に渡る食品(農産物、加工品)は前処理方法の選択が特に重要になります。そこで、複数の農薬を食品に添加した試料を用いて前処理方法を確立しました。



取組成果・波及効果

LC-MS/MSについて、選定・導入の際に各種測定モードおよびシステム全体について感度と精度(ばらつき)を評価し、各項目いずれも当社規格に合格していることを確認し導入にいたしました。このLC-MS/MSは、従来の水質分析方法に比べて約100倍の感度の分析が可能で、分析に要する時間も従来の3分の1程度に短縮でき、効率化も図れています。また、農薬分析では約300種類を検査・分析することができるようになりました。ジャパンコスメティックセンターの支援を受けつつ、今後もフランスを始めとする欧州及びアジア各国に展開するグローバル分析機関との提携を優位に進めていけるものと考えています。



Q1. 課題はありますか？

A. 分析機器を取得するだけでは当然事業としては成り立ちません。経験のある人材や、様々な分野のノウハウをとりまとめ、構築していくことが必要不可欠となります。食品(農産物・加工品)に係る人材の確保をさらに進める必要があります。

Q2. お客様の反応は？

A. 以前は対応できなかった検査ができるようになったことで一定の評価を得られており、リピートも増えています。



Q3. モットーはなんですか？

A. 安心、安全を提供する。

今後の展望・活動予定

ノウハウ構築については、ジャパン・コスメティックセンターの会員企業と協力・連携することで効率よく進めていきたいと考えております。化粧品、医薬部外品、医療機器等のほか、農産物の輸出入を希望される企業のサポートをできるモデルを構築したいと考えており、対象の業種をさらに拡充させていきます。マーケットについては、「唐津コスメティック構想」にからめて、フランスを中心とした欧州およびアジア地域のマーケットを想定しております。

ホームページを
CHECK!

